

## 浦幌道路管理ステーション 職員の引き揚げ

帯広開発建設部浦幌道路維持事業所は、平成17年に帯広開発建設部帯広道路事務所に統合された後、職員1名が毎日通勤し管理業務していますが、先日、同道路事務所長が訪れ、浦幌管理ステーション職員の引き揚げに対する協力要請がありました。

現在、政府が進める国家公務員の削減方針に基づき、国土交通省は北海道開発関係で約1千人の削減を「行政減量・効率化有識者会議」に報告し、それに沿っての減員ということです。

本町でも職員定数の見直しや給与の削減など様々な行財政改革を推進しているところから、開発建設部の行財政改革の必要性は十分認識しており、当管理ステーション職員の引き揚げはやむを得ないものと考えます。

今後、冬季の道路交通の確保や大規模地震発生などの緊急時の対応、さらには、経済活動の維持や住民生活の安全と安心を守るという大きな役割に重大な支障が生じることのないよう要請するとともに、災害対応等に関する協定書等を結んでいきますので、こ

理解願います。

## 町立診療所の医療過誤 その後の経過

平成17年2月10日町議会第1回臨時会で報告した、町立診療所の医療過誤のその後の経過について報告します。

遺族に対する賠償について、平成17年3月よりこれまで、遺族側弁護士から町立診療所側弁護士を通し保険会社と保険請求の交渉をしましたが折り合いがつかず、平成18年5月11日、遺族より損害賠償請求の訴状が釧路地方裁判所帯広支部に提出され、民事事件として受理されました。

今後は裁判において審議されることとなります。

## 大雨による被害額

4月20日から21日未明にかけての大雨による被害について、被害金額を積算したところ、全体で9千665万円となりました。内訳は、公共土木施設で道路28路線4千700万円、河川11河川4千230万円、農業用施設で



大雨で護岸が崩れたポンイニ川の水位の痕跡を調査

排水路5地区370万円、農道1地区30万円、農地1地区80万円、林業施設で林道6路線180万円、町有林管理道2団地50万円、文教施設でパークゴルフ場水路5万円、スポーツ活動施設法面20万円となっています。

また、公共土木施設のうち道路3路線、河川2河川4箇所については、公共土木施設災害復旧事業を申請する予定です。

## 牛乳消費拡大の取り組み

生乳生産抑制対策が余儀なくされている酪農環境において、その要因とし

て飲料乳・乳製品消費の伸び悩みや過剰在庫が言われていますが、本町としても町内における牛乳消費拡大を促進すべく浦幌町農業協同組合、浦幌町商工会、浦幌乳業株式会社との連携による取り組みを図るため、現在、事務段階での検討協議を行っています。

町も含め、既に各機関においては、当該機関主催の会議において、出席者へ湯茶に変わり牛乳の配付等独自に取り組んでおり、今般の検討協議では、町内消費者の皆様への取り組みについて、各機関が協力して促進対策を進めることになり、手始めとして本年7月中旬に「牛乳消費拡大キャンペーン」を実施し、町民への周知に努める計画です。

今後、詳細について検討を重ね、確定次第「町広報誌つらほろ」等を通じて周知したいと考えていますので、ご理解をお願いします。

